

実践2026 正誤表

巻	書籍頁	アプリ	項目	誤	正	訂正日	参考: 2025	
							書籍頁	アプリ
4.衛生	142	訂正あり	109A130 解き方	基準にする人口集団には、わが国では「昭和60年(1985年)のモデル人口」を用いている。	基準にする人口集団には、わが国では「平成27年(2015年)のモデル人口」を用いている。	2025/8/19	143	訂正あり
7.全部床義歯学 部分床義歯学	153	—	104B19 解き方	画像所見 義歯: ~、㊸左側頬側咬頭の接触が強い、~	画像所見 義歯: ~、㊸右側頬側咬頭の接触が強い、~	2025/4/25	151	訂正あり
8.冠橋義歯学 インプラント	47	訂正あり	116A58 b肢、c肢解説	Ob: 診断用ワックスアップを用いることで、~最終補綴装置の形態について共通認識をもつことができる。 Oc: 診断用ワックスアップにより得られた~、過不足なく歯質の削除ができる。	Ob: 診断用ワックスアップにより得られた~、過不足なく歯質の削除ができる。 Oc: 診断用ワックスアップを用いることで、~最終補綴装置の形態について共通認識をもつことができる。 ※b肢とc肢の本文を入れ替え	2025/5/9	55	訂正あり
9.小児歯科学	90	訂正あり	113A67 解き方	画像所見 口腔内: 右; L-Cが残存しており、L-3は異所萌出である 上・下; 第一大臼歯はすべて萌出している 左; 3-Jは唇側転位である	画像所見 口腔内: 左; L-Cが残存しており、L-3は異所萌出である 上・下; 第一大臼歯はすべて萌出している 右; 3-Jは唇側転位である	2026/2/2	82	訂正あり
10.歯科矯正学	—	訂正あり	108B45 解き方	画像所見 エックス線: ㊸ L-Cの晩期残存、㊹ L-C →乳歯の晩期残存によって叢生が起きている	画像所見 エックス線: ㊸ L-Cの晩期残存、㊹ L-3 →乳歯の晩期残存によって叢生が起きている	2025/4/25	—	訂正あり
11.口腔外科 上	5	訂正あり	114B61 解説	Ob: Marfan症候群は FBNI 遺伝子や TGFBRI 遺伝子の異常でみられる。~関節脱臼がみられる。	Ob: Marfan症候群は FBNI 遺伝子の異常でみられる (TGFBRI 遺伝子、 TGFBRI2 遺伝子などが原因遺伝子の場合にはMarfan類縁疾患のLoeys-Dietz症候群として区別することがある)。~関節脱臼がみられる。	2025/9/10	5	訂正あり
13.歯科麻酔学 歯科放射線学	—	訂正あり	109B46 問題文	画像3枚目キャプション 冠状断	画像3枚目キャプション 矢状断	2025/8/4	—	訂正あり

—: 訂正内容該当なし (該当の記述なし、または修正済みなど)